



ニュースレター

発行 第4号

2025.12.10

工業団地の整備状況を動画で発信へ！

新しい動画は <https://youtu.be/qL75vOQquMc>



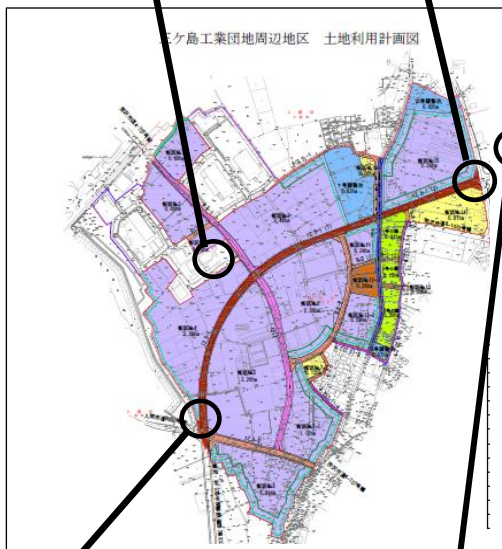
ドローンによる撮影現場（11/5）



建設中の幹線道路（12/5）

最新のPR動画を制作

準備会では工業団地の最新の整備状況を周知するため、地元のヒロセ・スタジオ様に動画の制作を依頼しました。上空150mからは幹線道路建設工事など基盤整備事業の様子や販売予定の街区の様子がはっきりと見ることができます。最新の動画のQRコードはこちらです。
ぜひご覧ください。



第2回理事会を開催

準備会では去る10月30日（木）オンラインによる第2回理事会を開催し、5月からの事業報告と補正予算案が承認されました。補正予算では新たにウェブサイト制作費と動画制作費を予算化しました。準備会では早速ドローンによる工業団地の撮影を実施し、来年2月には準備会のホームページに掲載する予定です。これによりさらなる企業誘致の推進が期待されます。



↑ 南側上空から工業団地全景（11/5）



↑ 東側上空から工業団地全景（11/5）

会員紹介(Vol.2)



needs-seeds
株式会社ジェイ・アール・エス



↑ (株)ジェイ・アール・エス全景(12/5)

代表取締役

稲垣 宏俊さん

初代社長の木下公次氏の後任として2代目社長に就任。稲垣社長は身近な食品廃棄物を食品資源ととらえ、良質な飼料・肥料に変えて農家の畜産、野菜生産に活かす画期的な事業に取り組んでいます。そして社内では従業員の労働安全教育の徹底をし、誰もが胸を張れる会社づくりをめざしています。



(株)ジェイ・アール・エス
〒359-1167
所沢市林 1-299-8
Tel.04-2938-7277
従業員 10名
✉@jrs-eco.com
<https://www.jrs-eco.com>

◆ジェイ・アール・エスのメイン事業◆

●食品廃棄物を資源化し、飼料・肥料を生産
主に所沢市内の学校給食やスーパー・コンビニからの食品資源をまず分別し、加熱殺菌、一次発酵し、新たな飼料、肥料として製品化し、農場へ出荷しています。

●農家とタイアップした製品開発、販売
会社では豚による給餌試験や畑への施肥効果をデータ化して農家の要望に即した飼料、肥料の供給をめざして製品開発しています。

●プラスチックの資源化
食品廃棄物の資源化以外にもオフィス・スーパー・コンビニ等から排出されるプラスチックの資源化にも積極的に取り組んでいます。



発酵乾燥機

6～7時間かけて一次発酵と乾燥を行い、臭気は減圧処理して脱臭装置へ送ります。



製品化された乾燥飼料
サラサラのペットフード
のように見えました。



◆未来展望◆

●新たな企業との連携拡大へ

新たな工業団地に進出する食品関連企業との連携でさらに食品リサイクルと販路の拡大が期待されます。さらなる技術開発が求められています。

●インドネシア政府との連携拡大へ

インドネシア政府による所沢市学校給食の食品リサイクルを担う当社へ視察が行われ、リサイクル事業について意見交換をしました。

●プラスチックの資源化事業も拡大へ

20年前から所沢市で回収されたペットボトルを選別・圧縮し、新たなペットボトルの再生資源化を拡大しています。



《ジェイ・アール・エス沿革》

1991年 会社設立
2001年 三ヶ島工業団地に移転
2003年 食品リサイクル実証プラントを移設
2005年 所沢市内学校給食食品残渣のリサイクル開始
2006年 「彩の国工場」に指定
2007年 取れたて野菜を市内小中学校に提供
2009年 埼玉県知事が見学来社
2010年 さいたま環境賞を受賞
給食センター職員と子どもたちが会社見学
所沢市エコ祭り参加
2013年 代表取締役の変更
2025年 インドネシア政府の視察
ドリンクジャパン出展

【事務局だより】

◆11月の好天の日に150m上空からドローンで工業団地の様子を撮影。遠くに白く雪化粧した富士山を望み、無事に撮影は成功。今月号に動画制作が間に合いました。◆今号は食品リサイクル企業のジェイ・アール・エスの特集です。様々な食品廃棄物が飼料や肥料に生まれ変わるのには丸で魔法に掛けられたようでした。工業団地と農家の連携でさらにおいしい野菜やお肉が作られて三ヶ島地域の産業の活性化に結び付けられたい最高です。夢は大きく広がってきたいです。(青木 記)